

意見書

第三回定例会では1件の意見書を可決し、関係機関に提出しました。

大規模災害時に備えた公立学校教職員派遣制度の創設を求める意見書

大規模地震や豪雨等の非常災害時において被災地に派遣された教職員は、現地の学校現場における復旧支援に大きく貢献してきた。この度の東日本大震災においても、学校機能の回復に向けた応急支援に加え、被災児童生徒の心のケアや学習の遅れに対する個別指導などさまざまな役割を果たし、その重要性が改めて認識されている。

しかし一方で、大規模災害時における教職員派遣について国としての明確なスキームが存在していないため、今回の大震災では、派遣教職員の確保にあたり、派遣自治体と被災自治体間における職種面や人数面でのミスマッチや、教職員の派遣に係る費用負担のあり方等について、さまざまな問題が浮き彫りになっている。

こうした実態を踏まえ、先般、宮城県教育委員会が文部科学省に対し、大規模な災害があった場合に備えて、被災地に応援派遣する教職員をあらかじめ登録しておく仕組みづくりを要望するなど、現在、被災地を中心に大規模災害時に備えた教職員派遣制度の構築を求める声が高まっている。

よって、本区議会は政府に対し、大規模災害時に、被災自治体に対して全国の自治体から適切に教職員派遣を進めるため、公立学校教職員派遣制度の創設が不可欠であるとの認識に立ち、下記の項目について、速やかに実施するよう強く要望する。

記

- 1 東日本大震災で明らかになった教職員派遣に関する諸課題について、阪神・淡路大震災や新潟県中越沖地震など、過去の大規模災害時における事例も参考にしつつ、十分な検証を行うこと。
- 2 大規模災害時における迅速かつ適切な教職員派遣を行うために、地方自治体による派遣教職員情報のデータベース化や被災地とのマッチング支援などを図る公立学校教職員派遣制度を創設すること。
- 3 同制度の導入にあたっては、大規模災害時における教職員派遣に関する課題が克服されるよう、費用負担のあり方を明記するなど、被災自治体の状況を踏まえた制度設計に努めること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。
平成23年10月14日

▶ あて先:内閣総理大臣、文部科学大臣

要請書

7月21日に提出しました。

「未臨界核実験」中止を求める要請書

我が国は、広島、長崎への原爆投下による被爆を経験した唯一の国であることから、多年にわたり、全世界に核兵器の廃絶を求め、また国際社会も核軍縮や核実験全面禁止への努力を積み重ねてきました。

練馬区は、昭和58年(1983年)10月3日に、すべての核兵器の廃絶と世界の恒久平和を願って、「非核都市練馬区宣言」を決議いたしました。これまで、フランスや中国、更にインド、パキスタン、イギリスが行った核実験に抗議し、即時中止を求める要請も行ってきました。また、北朝鮮が行った核実験についても、厳重に抗議するとともに、核実験を今後行わないよう強く求める決議をいたしました。

しかし、これらの努力を重ねてきたにもかかわらず、貴国が、平成9年(1997年)7月に未臨界核実験を開始して以来、昨年12月1日と今年2月2日に25回目および26回目の未臨界核実験を強行したことは、誠に遺憾であります。

よって、本区は、貴国が未臨界核実験を即時中止し、核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現に先導的役割を果たされるよう強く要請いたします。

平成23年(2011年)7月21日

▶ あて先:アメリカ合衆国大統領

決議

第三回定例会で可決した決議文は次のとおりです。

地域医療の確保と充実を求める決議 (医療・高齢者等特別委員会)

練馬区と練馬区議会は、これまで地域医療の充実を図るために、医療機関の誘致などの施策を展開してきたところである。しかしながら、7月4日、区の地域医療の中核をなす日本大学医学部附属練馬光が丘病院を運営する日本大学は、区に対して同病院の運営を平成24年3月末をもって終了するとの通告を行った。このことは、区民の命と健康に影響を及ぼすとともに、これまで充実を図ってきた区の地域医療に重大な支障を及ぼすものである。

本区議会は、区に対して、区民の命と健康を守るため同病院の機能を維持するのみならず、さらなる地域医療の充実を図るため速やかに後継医療機関を決定し、区と後継医療機関および日本大学との間で円滑な引継ぎを行い、地域医療の確保・充実に全力で取り組み、今後、地域医療計画策定に十分配慮し、推進されるよう強く求めることをここに表明する。

以上、決議する。
平成23年9月9日

練馬区議会

定例会の開催予定

次回の定例会は、**11月30日(水)から開催する予定です。**

どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。

傍聴受付

●本会議

西庁舎9階の傍聴席入口

●委員会

西庁舎5階の議会事務局

「ねりま区議会のしおり」を配布しています

区議会のしくみや仕事をはじめ、請願・陳情の書き方なども掲載しています。ぜひ、ご活用ください。

配布場所

区役所本庁舎1階、各出張所、図書館など



- 広報・図書委員会
- 委員長 かしわさき 強
- 委員長職務代理 宮原 義彦
- 委員 土屋 ひとし
- 委員 菊地 靖枝

区議会だより第182号は、平成23年第三回定例会を中心に編集しました。秋も深まり、朝夕も冷えこむようになってきました。風邪など引かぬようお気をつけてお過ごしください。本紙について、ご意見・ご要望がございましたら、議会事務局までお寄せください。どうぞよろしくお願いたします。

あとがき

催されました。この大会は、東京の河川改修を早期に完遂し、流域住民にとつて、安全で水害のない、水と緑豊かな潤いあふれる生活環境を創ることを目的として開催されています。当区議会からは、議長と議員16名が参加しました。



8月4日、オリオンホールにおいて、都内14区、21市2町1村が加わり、第49回東京河川改修促進連盟総会および促進大会が開催されました。

河川改修促進大会に参加

東京の広域化する交通混雑の緩和や、安全で快適なまちづくりに資するため、道路、橋梁、鉄道連続立体交差等の整備および公共交通を充実させる都市モノレール等の整備の推進を図ることを目的として開催されました。当区議会からは、議員18名が参加しました。



10月27日、千代田区の日比谷公会堂において、東京都市町村が主催する第22回東京都道路整備事業推進大会が開催されました。

東京都道路整備事業推進大会に参加